

# 官民一体となって国産材の利用を

農林水産省と国土交通省はそれぞれ毎年10月を「木材利用促進月間」、10月8日を「木材利用促進の日」と定め、木材利用について普及啓発に取り組んでいる。また、脱炭素化社会の実現に向け、宮城県内でも、公共・民間施設で高い断熱性や耐震性の特徴を持つCLTを採用した施設が多く誕生してきた。さらなる木造建築の普及に向けて、勉強会などの活動を推進している宮城県建築士事務所協会会長で宮城県CLT等普及促進協議会副会長もつとめる高橋清秋氏に、宮城県内の施工事例やCLTの普及に向けた新ロードマップの動きについて聞いた。

宮城県内での主な最近の木造建築の状況と施工事例を教えてください。

県内の最近の建築事業を見ると木造建築の施設は、公共・民間施設ともに増えてきました。このうち特徴的施設を挙げると、2021年に完成した宮城県の「林業技術総合センター」では、CLTパネル工法等新たな木材利用技術を積極的に導入し、林業技術の拠点となる施設として誕生しました。



▲宮城県林業技術総合センター

宮城県CLT等普及促進協議会の連携のもと、材料調達、生産加工、設計、施工を県内の技術者で取り組み、木造建築の経験が少ない地方の設計事務所と地元ゼネコンが木造建築に触れる機会を創出した大きな事例となりました。

CLTの普及状況や、宮城県CLT等普及促進協議会との連携についてお聞かせください。

政府は9月に国内でのCLTを活用した建築物の竣工件数が23年度に累計1,000件超になるとの見通しを公表しました。最近の動向では25年開催予定の大阪・関西万博の日本館の建設にも、CLTが活用される方針なので、特徴的な取り組みをもっとPRしてもらい、わたしたちも宮城県内での普及活動につなげていきたいですね。私たち協会は、CLTの普及

だけではなく、木造需要の普及を図っていくことが使命だと考えています。CLT等普及促進協議会と今後も一体となって勉強会などを進んでいき、木の温もりと品質の高さなどのメリットをさらに伝えていきたいです。

国が掲げる「CLTの普及に向けた新ロードマップ」の動きはどうか。

21年度の新ロードマップを基に、CLT普及に向けて全国に工場を均等配置して2024年までに年間生産能力50万㎡を目指す方針ですが、現状では国内に8工場の製造拠点しかなく、生産能力が一日当たり6万1000㎡にしか満たないのが現状です。普及課題としてはCLTの認知度が低いことや活用範囲が狭い、設計・施工を担当する担い手がみつかりにくい、維持管理の方法が分かりにくい等が挙げられ、民間工場も大きな投資ができない状態となっています。その課題を解決するためにも新ロードマップに掲げられている取り組みをさらに構築していき、CLTの魅力と幅広い分野で活用されている事例を増やしていかなくてはなりません。

公共建築物等木材利用促進法が2018年3月に改正されました。県内で目立った動きはありますか。

林野庁がまとめた2021年度着工の公共建築物の木造率（延べ床面積ベース）によると、東北6県すべてが全国平均の13.2%を上回る高水準となりました。低層（3階建て以下）の公共建築物についても、宮城県が53.3%で全国1位となるなど、東北の公共建築物の木材利用が他地域に比べて進んできています。しかし、県内の木造建築への使用の考えは各市町村で温度差があるのも事実で、公共建築へ

の投資が縮小されている中、県内では各地で行政庁舎の建て替えや大型事業の計画も進んでいるので、その中で木造の採用を検討してもらいたいです。2050年カーボンニュートラルやSDGsなど環境貢献としても木材利用への注目が高まっています。その具体化を図るためにも公共事業、民間施設でも官民一体となって国産材を中心とした木材利用などの取り組みを進め、後世に伝えていかなくてはならないと思います。

今年7月には木造を取り入れた丸森町の災害公営住宅が完成しました。

この災害公営住宅は、計160戸の世帯のうち、88戸が木造の住宅となっています。事業を進める際には、丸森町産材を活用した災害公営住宅・町営住宅の建設を推進するため、町内事業者による一般社団法人の「丸森町復興住宅建設協議会」を設立しました。地元工務店に加え、私たち宮事協も運営と全体調整のサポートの立場で事業に加わっています。建設を進める際には、地盤の基礎工事など苦労する点もありましたが、今年7月に完成を迎えることができたのは嬉しく思います。品質の良い町有林を使用し安心して暮らしてもらえる環境を整備したので、入居者の方々には木の温もりを感じて疲れを癒やしてもらいたいです。

このほか、宮事協では今年8月に東日本大震災の復興支援として名取市小塚原に建てたモデルハウスを名取市に寄贈させていただきました。モデルハウスは、宮城県の補助を受



▲丸森町災害公営住宅



けて2016年3月に完成した施設で、CLTを使用し地域木材の利用促進のため、新たな住宅モデルとして建築されました。完成後は閉上公民館の仮設事務所として活用され、23年8月末から子どもの心のケアハウス「はなもも教室」として開所し、支援拠点となりました。木の温もりを通して子どもたちの心が癒やされることを期待しています。東日本大震災後も激甚災害が東北管内で頻発しているため、今後も応急仮設住宅や被災者の自力再建に向けた相談など進んで取り組んでいきます。

最後に国、県の森林・林野行政へ望むことをお聞かせください。

公共投資が減少傾向ですが、新ロードマップに示された施策を基に、CLTの普及と大中小問わず木造を取り入れた施設への誘導を進めてもらいたいです。まちづくりを進めるためには地元を知る地場の設計事務所や工務店、地元ゼネコンの動きは必要不可欠です。大型事業になると、大手設計事務所や中央ゼネコンを中心とした発注方式となってしまう。将来の担い手確保・育成の問題解決に向けても、地元の業者が活躍できる環境の場と手が育成できる発注方式も検討してもらいたいですね。



▲名取市はなもも教室

## 木の温もりと品質の高さをメリットにCLTの活用を拡大

住まい・街・地域の文化に新しい魅力を！ 私たちは宮城のために

**一般社団法人 宮城県建築士事務所協会**

●宮城県指定建築士事務所登録機関 ●建築士法定講習実施機関  
●宮城県地域型復興住宅推進協議会

会長 高橋 清秋

副会長 加藤 良一 副会長 石原 修治  
副会長 大宮利一郎 副会長 佐々木昌喜

〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2-40 宮城県建築設計会館  
TEL.022(223)7330 FAX.022(223)7319  
E-mail jimukyoku@miyajikyoo.com URL https://miyajikyoo.com

Miyagi CLT

**宮城県CLT等普及推進協議会**

会長 大内 伸之

副会長 高橋 清秋 副会長 米澤 光秀  
監事 千葉 嘉春 監事 井戸川隆一

〒980-0011 仙台市青葉区上杉2-4-46(宮城県森林組合連合会館内)  
TEL.022(225)5991 FAX.022(225)5994  
Email jimukyoku01@miyagi-clt.com URL http://miyagi-clt.com/

**Forest**

**宮城県森林組合連合会**

代表理事会長 大内 伸之

〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目4番46号  
TEL.022(225)5991 FAX.022(225)5994  
http://www.miyamori.or.jp

**宮城県木材協同組合**

理事長 米澤 光秀

〒981-0908 仙台市青葉区東照宮一丁目8-8(宮城県木材館内)  
TEL.022(233)2883 FAX.022(275)4936  
URL: https://miyagi-wood.jp/

一級建築士事務所  
**有限会社 高橋建築設計事務所**

代表取締役 高橋 清秋

〒981-3212 仙台市泉区長命ヶ丘3丁目31-17  
TEL.022(378)3246 FAX.022(378)3769  
URL http://www.tsekei.jp

宮城県建築士事務所協会会員 宮城県CLT等普及推進協議会会員

**株式会社 鎌田建築設計事務所**

代表取締役 鎌田 孝一

〒985-0832 宮城県多賀城市大代4丁目15-19  
TEL.022(365)7762 FAX.022(369)3013

KUSUYAMA ARCHITECT INC.  
http://www.kusuyama-arc.co.jp  
E-mail: info@kusuyama-arc.co.jp

**株式会社 楠山設計**

代表取締役 大宮 利一郎

仙台市青葉区一番町三丁目3番16号 オー・エックス西郷のビル  
TEL.022(224)1207 FAX.022(215)4282  
東京事務所/青森事務所/大崎事務所

宮城県建築士事務所協会会員 宮城県CLT等普及推進協議会会員

**株式会社 O設計**  
一級建築事務所

代表取締役 奥山 和典

〒980-0811 仙台市青葉区一番町3丁目1番16号 PARM-CITY131 3F  
TEL.022(268)6336 FAX.022(268)6356

宮城県建築士事務所協会会員 宮城県CLT等普及推進協議会会員

一般社団法人 宮城県建築士事務所協会会員  
公益社団法人 日本建築家協会会員

**株式会社 構建築設計事務所**

代表取締役所長 徳田 伸治  
代表取締役 早坂 陽

仙台市青葉区上杉二丁目4番46号(宮城県森林組合会館内)  
TEL.022(262)3301代 FAX.022(222)3440

宮城県建築士事務所協会会員 宮城県CLT等普及推進協議会会員

創業77周年 そのいい顔を、設計します。

**株式会社 盛総合設計**

代表取締役会長 栗原 憲昭  
代表取締役社長 栗原 将光

〒980-0011 仙台市青葉区上杉3丁目3-16  
TEL.022(222)6887代 FAX.022(224)2397

宮城県CLT等普及推進協議会会員 CLT等木造【認定】技術者

信頼と和で築く豊かな未来

**株式会社 阿部和工務店**

代表取締役社長 船山 克也

古民家再生、神社・寺院建築も承ります

仙台市青葉区上杉一丁目17番18号銅谷ビル  
TEL 022-264-0411 TEL 022-225-5244  
https://www.abekazu.co.jp

宮城県CLT等普及推進協議会会員 CLT等木造【認定】技術者

HASHIMOTO 夢、かぎりなく。

総合建設業 創業明治11年 145周年

**株式会社 橋本店**

代表取締役社長 武田 文孝

本社 仙台市青葉区立町27番21号 ☎022-714-7020

宮城県CLT等普及推進協議会会員 CLT等木造【認定】技術者

人・街・くらし 明日のコーディネーター

**MURATA CORPORATION**

代表取締役 村田 秀彦

宮城県大崎市古川江合錦町二丁目6番1号  
TEL.0229(24)1500  
http://www.murata-koumusyoo.com/

宮城県CLT等普及推進協議会会員

木を育み、木材を形にして暮らしに届ける。わたしたち山大は木のぬくもりを形にする企業です。

**yamadai**

**株式会社 山大** 石巻市潮見町2-3 Tel: 0225-93-1111(代)

宮城県建築士事務所協会賛助会員

**宮城県産材活用はパネ協へお任せください。**

日本住宅パネル工業協同組合  
**PANE:CYO** 東北営業所 TEL: 022-221-7391